

| 第1回宇多津町行政改革推進委員会会議録 | |
|---------------------|---|
| 日 時 | 平成25年2月28日(木) 14時～16時25分 |
| 会 場 | 宇多津町保健センター4階大会議室 |
| 出席者 | 【宇多津町行政改革推進委員会委員】 石川 浩 佐藤 毅 岩根 正幸 萩原 弘資 今津 福人 川瀧 幸子 津谷 弘樹 住野 タツ子 (敬称略、順不同) |
| | 【町関係職員】 谷川町長 谷川総務課長 和田総務課主幹 中谷総務課課長補佐 松井政策調整室長 事務局(古川、藤村) |
| 会議次第 | 開会 1. 町長挨拶 2. 委嘱状交付 3. 会長選出(会長挨拶) 4. これまでの経過報告について (1) 「第四次宇多津町行政改革大綱」策定の流れ (2) 宇多津町の現状 (3) 宇多津町行政改革経緯 5. 第四次宇多津町行政改革大綱(案)について (1) 第四次宇多津町行政改革大綱(案) (2) 第四次宇多津町行政改革大綱実施計画(案) 6. 閉会 |
| 配布資料 | 資料1. 第四次宇多津町行政改革推進委員名簿 資料2. 宇多津町行政改革推進委員会設置要綱 資料3. 宇多津町決算等統計表 資料4. これまでの行政改革の流れと総括 資料5. 第三次宇多津町行政改革大綱・実施計画達成状況報告書 資料6. 第四次宇多津町行政改革大綱(案) 資料7. 第四次宇多津町行政改革大綱実施計画(案) |
| 会議概要 | |
| 開 会 | |
| 事務局 | 配布資料の確認をさせていただきます。 |
| 町長あいさつ | |
| 町長 | 〈町長あいさつ〉 第1回宇多津町行政改革推進委員会のご出席ありがとうございます。町長就任から2年4ヶ月になりますが、就任の折から副町長に指示していることがございます。それは、行政改革の中で一番重要だと思います機構改革・組織改革を行っていくよう指示しており、スリムな体制、かつ、スムーズな行政運営していきたいと考えており来年度には、それらの改革を断行したいと思っています。縦割り行政ではなく、横串を通して連携・協力ができる組織体制をつくりたい。そのような状況等を踏まえ第四次行政改革大綱を策定出来ればと思っていますので、推進委員の皆様には |

| | |
|---------|--|
| 事務局 | <p>忌憚のないご意見を頂きまして、宇多津町が今後も独立・単独で生き残れるような行政改革になりますよう、よろしくお願いいたします。</p> <p>推進委員のご紹介をさせていただく。</p> <p>〈委員を紹介〉</p> |
| 事務局 | <p>町の出席者の紹介をさせていただく。</p> <p>〈町の出席者を紹介〉</p> |
| 委嘱状交付 | |
| 会 長 選 出 | |
| 事務局 | <p>会長の選出については、宇多津町行政改革推進委員会設置要項第5条により、委員の互選によりこれを定めるとなっている。いかがが図るべきか、意見を伺いたい。</p> |
| 委 員 | <p>事務局一任</p> |
| 事務局 | <p>事務局としては、石川委員にお願いさせていただきたい。</p> <p>〈本人を除く全委員の拍手により、会長を石川委員に決定〉</p> |
| 事務局 | <p>宇多津町行政改革推進委員会設置要項第6条に会長が議長となることとなつていますので、今後の議事進行をお願いいたします。</p> |
| 会長あいさつ | |
| 会長 | <p>〈会長あいさつ〉</p> <p>改めまして先ほど会長という大役を仰せつかりました香川短期大学学長の石川です。第四次の行政改革ということですが、既に一・二・三次の行政改革について多くの議論を重ねていることと思います。第四次というからは、どこに出しても恥ずかしくない内容のものにしたいと思ひますし、町長が冒頭の挨拶で申された通り、宇多津町が今後も独立・単独で生き残れるような行革になるよう皆さんのご意見をいただきたいと思いますのでよろしくお願いいたします。</p> |
| 経 過 報 告 | |
| 会長 | <p>第四次の宇多津町行政改革ということですが、はじめにこれまでの経過報告・大綱策定の流れ・宇多津町の現状・宇多津町行政改革の経緯について事務局より説明いただきたい。</p> |
| 事務局 | <p>○行政改革推進委員会の開催趣旨</p> <p>【内部協議にて作成しております行革大綱（案）並びにその実施計画（案）について、住民の方等外部の意見を反映させたものにするために討議いただきます。いただいた意見については、内部協議の上、大綱及び実施計画に盛り込んだうえで策定、公開していく予定です。】</p> <p>○スケジュールについて説明</p> <p>【3回程度の開催予定としており、第1回目は本町の財政状況等の現状説明、これまでの行政改革の経緯及び第四次行革大綱（案）と実施計画（案）の説明をいたします。第2回目に本日ご説明した内容についての討議、第3回目に出された意見等に対して内部協議した結果を報告し、ご議論いただく予定です。】</p> <p>○第四次宇多津町行政改革大綱策定の流れ</p> <p>【本日は時間的に内容等の説明だけになります。その中で疑問点、追加資料の必要等がある場合、次回の開催までに資料等送付いたします。2回目の委員会の中での意見、指摘事項については、内部機関であります行政改革推進本部にて検討後、3回目の委員会にて報告し、ご議論いただきます。本委員会における結果については、</p> |

| | |
|-------|---|
| 会長 | <p>【討議内容も含めて町議会に諮った上で、町長への答申ということになります。】</p> <p>只今の説明でなにかご質問、ご意見がありますでしょうか。</p> <p>(特になし)</p> <p>本日の会議は、事務局及び町からの説明・報告をお聞きして、次回の委員会で内容等の議論を行うこととなると思いますので、ご質問、ご意見、ご要望などがありましたら、忌憚なくご発言ください。</p> |
| 総務課長 | <p>○宇多津町の現状について説明</p> <p>【平成15年度～平成23年度の人口移動、歳入・歳出決算、財政指数、職員数等】</p> |
| 委員 | <p>歳入について諸収入は増加傾向にあるが、何を指しているのか。</p> |
| 総務課主幹 | <p>財産収入・寄付金・繰越金等を含むものであり、平成21年度から増加傾向にあるのは、給食センターの外部委託(PFI)による給食費の取り扱いであるが、別会計から一般会計の諸収入として約1億円を計上するようになっている。</p> |
| 委員 | <p>ラスパイ指数について、平成24年は確か100を超えていると思うのだが、全体の給与が上がったのか。</p> |
| 総務課主幹 | <p>震災復興財源として、国家公務員が給与を平成24年度から25年度まで2ヵ年、平均7.8%下げた関係で100を超えている状況である。</p> |
| 会長 | <p>宇多津町の人口一万八千と同種系の町と比較して予算規模・財政規模はどれくらいが平均なのか、また、職員数はどうなのか。</p> |
| 総務課主幹 | <p>財政規模については面積等の関係もあり一概には言えないが、大きな差はないと思う。面積が大きい町は道路等の事業費が大きくなり歳出規模が大きくなるのではないかと。歳入については税収の不足分については地方交付税により補てんされることになる。</p> |
| 会長 | <p>人口と職員数について、職員1人につき対応する人口(住民)の基準は。</p> |
| 総務課長 | <p>平成22年の資料になりますが、人口・面積等による類似団体は約63団体ある。その内、職員定数は少定数順で11位、財政力指数は高い指数順で10位である。</p> |
| 会長 | <p>職員数は少ないからいいのか、少ないから悪いのか、住民サービスという観点からどうであろうか。質を維持して削減なら理解できるが、少なくなってサービス低下で住民に負担がいつているのであれば職員削減しても意味がないのでは。</p> <p>また、臨時職員の採用も多いと思われるが人件費として計上されているのか。他の市町では、物件費として計上されているケースもあると聞いている。</p> |
| 総務課主幹 | <p>宇多津町の場合も同様で一般行政部門で約20名、学校関係等で約40名、この他に福祉医療関係等含めて全体で80名程雇用しており、約1億円の臨時職員給与が物件費に計上されている。</p> |
| 委員 | <p>宇多津町の職員数減は、採用数を減らした自然減なのか、配置転換・出向等による減なのか。</p> |
| 総務課長 | <p>定年退職による自然減、また、保育所民営化・給食センター外部委託等の区切り(事業凍結による配置換え)の際に退職した方もいる。</p> |
| 事務局 | <p>○宇多津町行政改革経緯の説明</p> <p>【昭和61年に第一次行革大綱、平成7年に第二次行革大綱、平成15年に第三次行革大綱を策定し、行財政改革に取り組んできた。第一次から第三次の大綱においては、組織の再編・窓口サービス向上、OA化等事務事業見直しに取り組み、第三次大綱においては、住民協働、職員の意識改革、自立した組織構造と財政の確立を</p> |

| | |
|------|--|
| | <p>主眼に取り組んでいる。】</p> <p>○第三次行政改革大綱について</p> <p>【5本の柱「人の改革」「組織の改革」「事務事業の改革」「町政運営の改革」「財政構造の改革」にて取り組んでおり、人事考課、行政評価制度といった新しい制度導入による改革、PFI事業や指定管理者制度といったアウトソーシングの推進、職員数削減による人件費抑制を図ってきている。】</p> <p>○実施計画の達成状況について説明</p> <p>【実施計画に記載の94項目中、85項目について概ね達成という状況にある。個々の実施項目と期間中の達成状況、達成度と第四次大綱における対応項目を表中に示している。】</p> |
| 委員 | 達成状況の評価はだれがしたか。 |
| 事務局 | 内部評価である。 |
| 委員 | 人事考課の目標管理において数値目標等を立てるにあたってのベンチマークは。 |
| 総務課長 | 年度当初に町長より主要施策的なものが示され、次に各課でそれに対する目標が立てられ、係りに割り振りされ事務割合や難易度等に数値化される。 |
| 委員 | 開かれた給与の導入による人事考課の検討してみたらいいのでは。 |
| 委員 | 職員の配置は、何課に何人か。 |
| 総務課長 | 平成23年度であるが、職員129名、議会関係1名、総務関係24名、税務関係8名、労働関係1名、農林水産関係2名、商工関係5名、土木関係8名、民生関係27名、衛生関係23名の99名が一般行政部門。教育部門13名、上水道関係3名、下水道関係4名、それ以外5名である。 |
| 会長 | これまでの経過報告を受けて、次に第四次宇多津町行政改革大綱（案）及びその実施計画（案）について事務局からご説明願いたい。 |
| 事務局 | <p>○第四次宇多津町行政改革大綱（案）について説明</p> <p>【これからの社会情勢の変化等に対応していくために、町民の参画と協働、経営手法の導入という視点に立ち、これまでの法令順守等の管理重視の行政運営から地域経営型の行政運営へ転換が必要である。そのために歳出削減などの効率的・効果的な行政運営といった「量」の改革を維持しつつ、住民目線を重視した行政サービス向上といった「質」の改革を進めていく。推進項目として10の項目を設定し、実施計画にて具体的に推進していく予定である。】</p> <p>○行政改革大綱実施計画（案）について説明</p> <p>【推進項目それぞれの実施計画として、具体的に組み立ていく内容と実施時期について説明。】</p> |
| 会長 | 以上の説明について、何かご質問、ご意見はないか。 |
| 委員 | <p>現在説明のあった（案）は、一般的な内容というイメージがあるように思う。宇多津独自の取り組みがあった方がいい。それと実施スピードが遅い。また、今はアウトソーシングありきで進めているが、例えば臨時職員の採用（アウトソーシング）も原点に戻って検討する必要があるのでは。</p> <p>また、町の収入増収を考える必要がある。税込・諸収入アップの方法手法を検討するべきである。</p> |
| 委員 | <p>全体の費用を減らす、人を減らす等とあるが、本来の目的が見えない。</p> <p>各課の目標などもっと具体的な内容が見えるもの方がいい。スピード感がない。</p> |

| | |
|-----|--|
| 委員 | なぜ過去の大綱策定スパンが5年・7年なのか。今は3年が一昔と考える時代である。もっとスピードと進捗管理が必要である。 |
| 委員 | いい機会なので内容を一新してみてもどうか。 |
| 会長 | 今日はこれまでの流れや第四次行政改革大綱・実施計画案について説明をいただいたので、次回の推進委員会で具体的な内容協議を行いたいと思う。量から質への改革を進めるべく、色々お知恵を拝借したい。本日の委員会はこれで終了することとする。 |
| 事務局 | 長時間ありがとうございました。本日は資料説明に終始したが、次回に具体的に詳しくご議論いただきたいと思うのでよろしくお願ひしたい。また、今日の説明で不十分であった資料等については、次回にお示ししたいと思う。 閉会（16時25分） |